



## 講演会、総会を終えて

市原 美幸



梅雨の合間に見える青空がまばゆく、夏の足音が間近に感じられるこのごろです。

2020東京オリンピック、パラリンピックもいよいよ開幕で賑わう一方で、デルタ株の感染拡大に伴う第5波も懸念されています。コロナワクチン予防接種も徐々に進んではおりますが、まだまだ不安な日々を過ごしておられる方もいらっしゃるかと思います。安心して人と会い、外出できるのは何時になる事でしょうか。

### 2年ぶりの講演会と総会

当会では、蔓延防止期間ではありましたが、6月27日に第54回目の講演会と第20回総会を開催いたしました。

本年度は、会場とリモートで行い、不手際な点、お聞き苦しい所も数々ございましたが、何とか無事に終えることができましたので、この会報にてご報告いたします。

講演会は、3年ぶりに勝俣 範之先生をお迎えし、「がんの最新治療と標準治療、どちらを受けますか」と題して、(参加者は会場に25名、リモートでは13名でした。)標準治療になるまでの遠い道のりを分かりやすく説明頂き、最新治療との違いと、がんの「ニセ医療」を見分けるポイント等々ユーモアを交えて教えて頂きました。

更に、日本における新型コロナワクチンの開発がなぜ諸外国と比べ遅れているのか、新型コロナで信頼できる情報源も提示して頂き、正しい情報を得る事の必要性を改めて認識できました。

総会では、会場で議事次第に沿って執り行い、会場とリモートでの参加者数と、返信はがきの返答により半数以上の承認を賜りましたのでご報告申し上げます。

今年は2年ぶりの会場での総会開催に当たり、ご来場いただいた会員の皆様、リモートで参加の皆様とお話しでき、励ましのお言葉や募金ご寄付も頂戴し、心より感謝を申し上げます。

また、コロナ禍により外出を控えておられた方やご都合が合わず、ご参加できなかった会員や患者会の皆様には、返信はがきの送付、総会の承認と共に暖かい励ましのお言葉も頂きありがとうございました。

多摩総合医療センターの副院長にご就任の、芝 祐信先生は引き続き顧問として支えて頂けることと、岸本 まり さんが、新役員として加わったことで、オンラインでの活動も充実させると共に、皆様から頂いた

要望やご意見も踏まえながら、本年度も皆様に興味ある情報を発信できるよう励んでまいりたいと思います。

末筆ではありますが、今年度20回目の総会を迎えることが出来たのは、会の設立当初からの会員の皆様はじめ、20年という年月の間、会を支えて下さっている多くの会員の皆様のおかげです。

心より感謝を申し上げます。

設立当初からの役員、会員様の想いを継承しつつ、がんケアについて、その時代に即した情報やテーマを皆さんと一緒に考え、学んでいきたいと思っております。

引き続き、皆様のご支援、ご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

☆☆

## 講演会報告

6月27日(日)14:00～15:30 ル・シーニュ6階(プラッツ第2会議室)

### 『がんの最新治療と標準治療、どちらを受けますか』

講師:勝保 範之先生(日本医科大学武蔵小杉病院 腫瘍内科教授 部長  
外来化学療法室 室長)

今年の総会前の講演会には、2018年5月以来当会2回目のご登壇となる勝保範之先生をお招きしました。18年の講演会では『がん治療の誤解を解く～知ってほしいがんの正しい知識』について大変わかりやすくお話いただき、参加した方々からも好評でした。

#### オンライン利用の試み

今回の講演会は、昨年に続き新型コロナウイルス感染症の予防のためオンライン(インターネット)でも視聴できるよう体制を整えました。また、今回はオンラインでの申し込みしやすくなるよう、初めて「Peatix」というイベント・コミュニティ活動の管理サービス(無料版)を利用しました。

参加者は会場25人、オンラインでの視聴13人の計38人、うち会員20人、非会員が18人、参加者のうちPeatixを通じた申し込みは5人でした。コロナ禍で様々なイベントや会合が中止となるなか、オンラインでの開催も取り入れました。しかし、講演会の開催を周知する機会や方法についてはやや課題が残ります。

#### 標準治療の理解

講演会は、「がんの標準治療(最善の治療)」と「最新治療(研究的治療)」の違いがとてもよくわかる内容でした。「最新治療」が「標準治療」になるまでには、治療効果をみるための大規模な比較試験や研究(治験)が実施されます。長い道のりを経て効果を認められたものだけが「標準治療」として保険適用されます。

一方、保険適用外のものには「治験」「先進医療」「代替療法:自由診療・民間療法」があります。

「治験」や「先進医療」は医学的な有効性があるかどうかを見定める過程にあり、国の審査がありますが、「代替医療」は医学的な有効性の証明がなく国の審査もありません。



クリニックでの免疫細胞療法、ビタミンC療法、健康食品、サプリ、マッサージなどは、「標準治療」として認められる治療法が受ける厳しい試験で有効性が認められていないものです。

①保険がきかない、②「がんが消えた！治った！」などのうたい文句、③「体験談」（医療広告では禁止されている）は「ニセ医療」を見分けるポイントとしてあげられていました。

「がんの最新治療と標準治療、どちらを受けますか」という問いの答え、皆さんにはもうわかりですよね？

また、勝俣先生は新型コロナウイルス感染症やワクチンについても信頼できる情報源かどうか大切に大切だとおっしゃっていました。テレビや友人ではなく、厚生労働省や国立感染症研究所などが信頼できる情報源です。信頼性の高い情報を得て、有効な選択をしていきましょう。（文責：宮田 乃有）

☆☆

## 総会報告

6月27日に第29回定期総会が開催されました。同時開催の講演会につきましては、前記報告をご覧ください。

例年は5月末に開催していましたが、患者会の奇数月開催への変更に伴い6、12月を総会、講演会に開催月にすることにしました。

当日の総会について報告いたします。

開会あいさつ

市原会長

議長 窪田役員

総会出席者



会場出席 17名、委任状 11通、リモート参加 6名 計 34名の参加をいただいています。会員総数は61名ですので総会は成立しています。

1号議案 2020年度事業報告(宮田役員) 承認

コロナ下の制限された中での活動を報告。特に年末の講演会は初めてのリモート経験。府中協働まつりでは会紹介ビデオを作成。ユーチューブで見られます。

2号議案 2020年度会計報告(宇田会計) 承認

3号議案 2020年度監査報告(稲津会計監査) 承認

4号議案 2021年度役員提案(市原会長) 承認

会長 市原 美幸、顧問 芝 祐信、副会長 窪田 ふく子

役員 宮田 乃有、武智 一雄、岸本 まり

会計 宇田 ひさ子、会計監査 稲津 憲護

5号議案 2021年度事業方針(案)(武智役員) 承認

施設関連の情報を会報などにより発信していきたい。

講演会、患者会の場で相談、情報提供を行います。

府中市に対し意見提案を行いたい。

年遅れとはなるが、20周年記念事業を企画していきます。

関連団体との協働活動を行い、役員、会員の拡大を目指します。

今年度から岸本まりさんに役員をお願いすることになりました。リモートでの患者会、講演会で活躍いただいています。

#### 6号議案 2021年度活動計画(案)(武智役員) 承認

ホスピス見学はすべて無理な状況ですので施設のリスト更新で情報収集をおこないます。講演会、患者会はリモートを積極的の取入れ、「どこからでも参加」できる催しにします。府中市への提言は主に AYA 世代(18歳から39歳)への対策をまとめていきます。会報への寄稿を皆さんにお願いし、運営。会員の拡大への参加をお願いします。

#### 7号議案 2021年度予算(案)(宇田会計) 承認

### 新しい試み リモート会議について



昨年末の講演会より Zoom を使用した患者会、講演会を行っています。

パソコン、スマホがあれば指定された「アドレス」への接続か、Zoom のサイトからパスコードの入力で参加することができます。自宅、病院などどこからでも講演、お話に参加することができます。

6月の講演では「Peatix」という集金の代行システムを運営しているところを利用してみました。今回の講演では会員外の方からは800円参加費をお願いしていますが、ここを経由すれば手数料はかかりますが安全に参加費を徴収することができます。初回はいくつか不手際があり、参加者の方にご迷惑をおかけしましたが、今後は府中周辺のみならずあらゆるところから参加が可能になります。

機器の扱いに不慣れな方も多いかと存じますが、わからない場合は役員にお声がけください。

会計よりのお願い

会費納入をお願いします。ご連絡いただければ振込用紙を送付します。振込口座の変更がありご迷惑をおかけしたことをお詫びします

### 2021年の予定

予定変更、中止になる可能性があります。いずれの催しも当面参加人数に制限があります。できる限り事前の確認、参加予約をお願いします。

日時	行事	会場
7月25日(日) 午後1時30分	患者会	プラッツ 第6会議室B
9月26日(日) 午後1時30分	定期総会・講演会	プラッツ 第6会議室B
11月23日(火・祝) 午後2時	講演会(内容未定)	プラッツ 第2会議室
11月27~28日(土・日)	府中共同まつり	プラッツ

#### 編集後記

47号の発行が遅くなってすみません。総会が6月になり、各担当者に急いで原稿をお願いしました。

発行 府中がんケアを考える会・会報編集部

連絡先 183-0053 府中市天神町3-7-47 武智 一雄  
電話 090-7729-4429 Mail: ktakechi@fuchugancare.org